

# 保幼小中一貫教育の推進方針・学校等再配置計画についての説明会

質疑応答要旨(6/6～6/14 4回開催分)

\* 質問・回答とも要旨を記載しております。  
本説明会の主旨に関係する質問のみ掲載

## ●ソフト面

No.	種別	発言内容	回答内容
3-1	質問	東能勢小学校は少人数で目の届いた教育をしていただいていると感じています。きめ細やかな教育という面では反する方向のように思います。中学校からの統合は、色々な活動面やこれから社会へ出ることを考えると賛成できますが、小学校から必要なのかと感じます。	きめ細やかな教育という面は大切と考えています。少人数でなければ、きめ細やかな教育ができないかと言いますと決してそうではありません。習熟度別授業など少人数が有効なもの、音楽や体育など大人数が有効な授業など、授業スタイルの選択ができる環境(授業スタイルの多様性)がよりよい学びを生むと考えております。同じように、子どもたちの関わりの中での学びの多様性、先生方との関わりの中での多様性も、より学びが深まる環境だと考えています。
3-2	質問	統合するときに、子どもたちがバタバタしないかが心配です。	いま在学中の子どもたちが、教育面、進路面等について、しっかりと対応するように学校に伝えて行きたいと思えます。
3-3	質問	中学生くらいになると自転車で東西地区を行き来することもあると思います。東西間の移動が安全にできるような対策を望みます。	町が直接執行できる案件でないため、要望活動を続けたいと思えます。
3-4	意見	送迎バスについて、子どもが乗り遅れたときの対応、点呼はするのか等も考慮して欲しいです。	ご意見等については、どんどん聞かせていただけると助かります。準備会で提示させていただき、検討させていただきたいと思えます。
3-5	質問	計画自体の変更はないのでしょうか。個人的には東地区に小中学校を残して欲しいと思っています。計画の意思決定過程を教えてください。	設置者は町となります。条例改正には議会での承認も必要になります。教育委員会で説明会を終え一定のご理解が得れましたら、町長へ報告・判断し、議会へ上程・承認という運びになります。
3-6	意見	人口が減少しているのは理解していますが、学校存続は町づくりの根幹ではないでしょうか。そういう視点で学校存続の中で人口増加策を考えていただきたいと思えます。	地域の中に学校が必要であるというのは分かりますが、これからの未来を生きる子どもたちに必要な力を考えたとき、多様性の中で、それを許容していく力、いろんな人の意見を聞いて、自分の答えを見つけていく力、教えられたことを単に覚えるだけでなく、自分なりに答えを見つけ出していく学習が必要だと考えています。主体的で、対話的で、深い学びの授業が必要であります。そういう中で学校再配置の考えが出てきましたので、ご理解をお願いします。
3-7	質問	学校の再配置について財政面での検討はされていますか。	行財政改革で、学校再配置の話が出てきたわけではありません。町長より、「今後の豊能町の子どもたちのことを第一に考えてくれ」との指示があり提案したものです。
3-8	質問	スクールバスについて、降雪時等で運休した場合は、どうなりますか。	スクールバス利用者が通学できないという状況になれば、休校という扱いになります。
3-9	意見	以前、幼稚園のPTA役員をやっていたときにも一貫校の話がありましたが、その時と違いたいぶ形になってきたと感じております。保護者の意見を少しでも取り入れていただくように進めて行ってもらうことを期待します。	説明会が一定終わった段階で、保護者、地域、学校の代表者等にお集りいただき、課題を整理しつつ、議論する場を設ける予定です。(No.5と同回答)
3-10	意見	他地区の皆さんのお考えや意見も聞きたいので、地区を分けないような説明会も開催して欲しいと思えます。	今回は、保護者対象に各校区ごとに開催しておりますが、これが一定終了しましたら、保護者以外の方も対象として公民館等で説明会を開催する予定にしております。
3-11	意見	アンケートなども取ってみてはどうかと思えます。	皆さんに学校再配置の主旨等が伝わるよう、直接お話しをしたうえで、ご意見を聞きたいと考えています。
3-12	質問	支援が必要な子どものサポート体制に影響はありませんか？	小中あわせて9年間、保幼も含めると15年間で切れ目なくサポートする体制になりますので、連絡・引継ぎなどもスムーズになり、より充実したものになるとイメージしています。

3-13	質問	内申点について、東能勢中学校と吉川中学校で評価の違いとかが気になります。	文科省で評価基準と言うものがあり、それに沿って評価はしています。また東能勢中学校と吉川中学校の教諭の人事異動は行われています。両中学校での評価がかけ離れているということはございません。
3-14	質問	町内の子育て中の熱心にごやっておられる教員が一貫校で居づらくなれないかと心配です。(子どもと同じ学校であることで)	教諭の希望によることもありますので、一概には答えられません。
3-15	質問	支援の必要な子どもに対しての、支援内容が低下することはないでしょうか。	支援教育の充実が必要であると考えます。さらなる充実のために、いま東ときわ台小学校で取り組んでいる内容があり、小中一貫校でも進めて行く予定です。
3-16	質問	5年生から教科担任制が入るということですが、学級担任制でなくなると生活面できちんと子どもを見れるのかが心配です。	担任がいらないということではなく、複数の目で生徒を見ていくというイメージです。中学校の先生が小学校(5年生)から関わることで長いスパンで子どもたちを見ていただくことがメリットと考えています。それぞれの教員が連携して取り組むよう努めたいと考えます。
3-17	質問	小中一貫校で小学校の先生が中学生を、また中学校の先生が小学生を教えるという形になるのでしょうか。	いまのところ教員免許の関係で小中、どちらの免許も持っている教師が多くはないので、すぐには実施できる状況ではありません。小中一貫校が定着していけば、将来的に小・中両方の免許を取ってもらえるよう努力します。

●ハード面

No.	種別	発言内容	回答内容
3-18	質問	周辺地区への説明はできていますか。騒音について、住宅地も隣接しており、学校活動、クラブ活動等に少なからず影響があると思われれます。また、商業地域が近くにあり、人が集まる時には、渋滞など周辺に迷惑をかけるのではないかと心配します。	周辺地区住民の理解を求めながら、防音対策や近隣に迷惑をかけないように配慮していく考えです。
3-19	質問	幼稚園児と小学生、中学生が同じグラウンドで遊びや体育等をすることが、危なくないかと心配するのですがどうなのでしょう。	全体の配置等はこれから計画していきますが、同じ敷地に建設することになっても、認定こども園の所園は別で、また小中学校もグラウンドや体育館も出来れば2面建設できればと考えています。
3-20	質問	校舎は、学年により別棟で建設される予定ですか。	認定こども園と小中一貫校とは分けたものになります(自由に行き来できる状態にはしない。)。一貫校の方は、1～9年生まで一つの校舎となります。動線につきましては、説明のとおり配慮いたします。
3-21	質問	ふれあい広場を学校用地とされまして子どもの遊ばせる場所がなくなってしまう。	公園などをお願いしたいと思います。
3-22	質問	建替えということですが、財政面を考えると既存施設の利用を考えたら良いと思いますが、いかがなんでしょうか。	吉川中学校は間もなく50周年を迎え、かなり老朽化が進んでおります。体育館や教室にも雨漏りなどもあり、またトイレも和式など、今の時代や規格にそぐわないものとなっているものがあります。かなり大規模な改修が必要な状態です。各部屋等の配置についても、子どもたちにとってより良いレイアウトとしたいため、新築と考えております。